

ネットワンシステムズとの経営統合説明会

SCSK

net one

SCSK株式会社

2025年9月19日

Copyright © SCSK Corporation

<アジェンダ>

1. 経営統合の基本方針

- SCSKグループの目指す姿 –グランドデザイン2030-
- 両社統合により目指す事業像
- 合併に向けたスケジュール

2. 事業シナジー

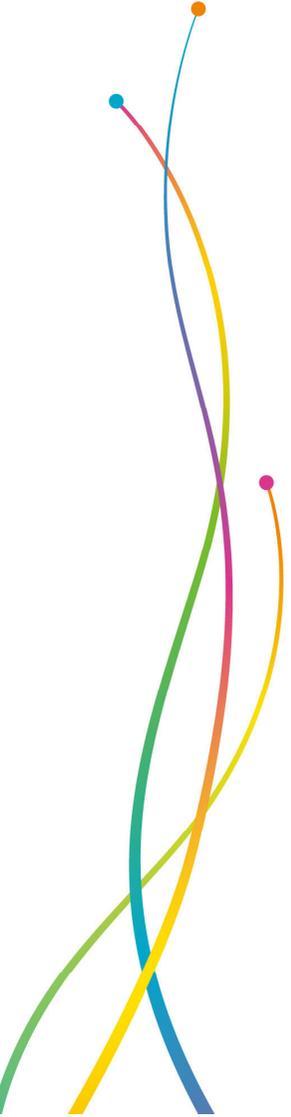
- 事業シナジーの全体像
- 事業シナジー実現プラン
 - ① 両社主要顧客への共同提案&クロスセル
 - ② アプリケーションとハイブリッドクラウド全体の高品質な設計・実装
 - ③ セキュリティ&アプリ&インフラを横断する統合マネージドサービスの提供
 - ④ スマートマニュファクチャリング OT/IT融合による新たな価値領域の創出
- 事業シナジーの定量目標

3. コーポレート高度化

- コーポレート高度化の目指すゴール
- コーポレート高度化(コストシナジー)の定量目標

4. 更なる企業価値向上のための全社施策

- 企業価値向上に向けた企業文化融合
- 統合後のありたい姿



1.経営統合の基本方針

SCSKグループの目指す姿 –グランドデザイン2030–

目指す姿 –グランドデザイン2030–

現行の中期経営計画(24年3月期～26年3月期)

2030年 共創ITカンパニー

～ ITの、つぎの、幸せへ。～

SCSKグループの人的資本力の向上をもって、お客様やパートナー、社会との共創を推進し、各種課題に対し、価値提供し続ける企業グループへ

総合的企業価値の飛躍的向上
売上高1兆円への挑戦

中期経営計画 グループ基本戦略

SCSK

- “総合的企業価値”の飛躍的な向上に向け、
 - ・お客様や社会に対して、新たな価値を提供し続けるため、事業分野、事業モデルを再構築する
 - ・社員の成長が会社の成長ドライバーと認識し、社員一人ひとりの市場価値を常に最大化する



成長市場において、市場をリードする事業を推進

SCSK

IT活用にて成長を期する市場・技術領域において、SCSKグループの保有する成長への貢献と共に、SCSKグループの高成長を実現する。

- ・ 既存リソースにどろわれぬリソース集中、先進技術を組織的に活用、継続的に対象事業を見出す。



社会課題

《世界》

- 技術革新による破壊的イノベーション
- 企業・組織へのサイバー攻撃
- 気候変動・脱炭素化
- 地政学リスク

《日本》

- 高齢化の進行
- 人口の減少
- 社会インフラの老朽化
- 大規模自然災害の甚大化、頻発化 等

社会トレンド

- データドリブン経営の進展
- 各産業の事業革新
- モビリティ革命 等

社会・顧客課題解決に向けたモダナイゼーションサービス

- 製造領域 (デジタルサプライチェーン、atWill)
- 金融領域 (AML、ウェルスマネジメント)
- 中堅企業データドリブン経営支援 (ProActive)
- BPM (ビジネスプロセスモダナイゼーション)

新しい価値創造に向けたイノベーションサービス

- ヘルスケア (医療分野向けデジタル業務改革支援)
- モビリティ (SDM時代をリードするモビリティソフトウェア開発)

社会のデジタル化を支えるインテグレーションサービス

- セキュリティ
- データインテグレーション
- クラウドインテグレーション

デジタル化の潮流を捉えるマーケットエクспанション

- グローバル (エマージングマーケットでのデジタル改革)

- 【AI】
機械学習/深層学習
- 【IoT】
センシング/エッジ
- 【Blockchain】
Web3/NFT
- 【セキュリティ】
ゼロトラスト/暗号化
- 【データ解析】

両社統合により目指す事業像

現在の事業モデル・強み

統合後の独自のポジションの確立

融合による圧倒的な価値提供を実現



両社の共通項である「現場力(業務知見、知財)」を軸に、特定領域における専門性から育まれた業務コンサルティング力を活かした業界共通・業界特化サービスの提供

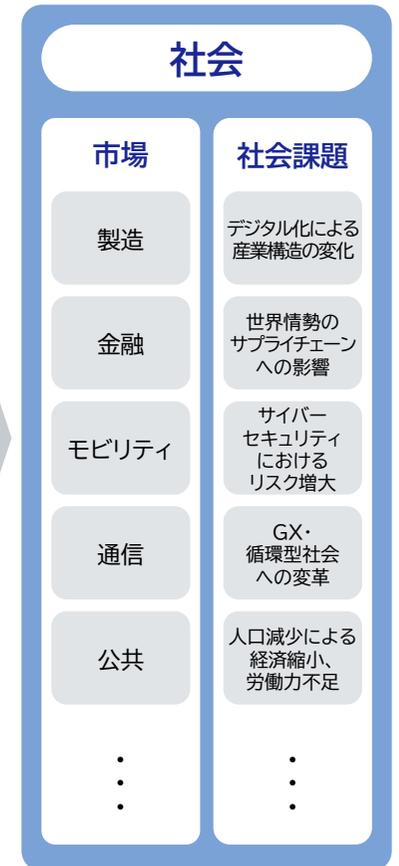
SaaS、PaaS、IaaSを融合させる新しいアーキテクチャを持って、SIとNI、ITとOTを結合・融合

データ活用アプリの開発力とITインフラ基盤の開発力の融合、全ての業種に対する全方位での取引実績を背景とした異業種間でのデータ連携・活用



先端デジタル技術開発

業務・ITコンサル



合併に向けたスケジュール

2025年度

2026年度

2027年度

事業シナジー創出へ向けた準備

次期中期経営計画期間

事業シナジーの本格発現
SI領域とNI領域の融合

コーポレートの効率化・高度化

- ①工数削減・社内DX推進による筋肉質な組織づくり
- ②事業戦略・事業シフトを支える専門性とスピード
- ③全体最適を達成し企業価値の向上と業績貢献を実現

26年4月～
現経営形態は維持
(機能再編は実施)

SCSK net one

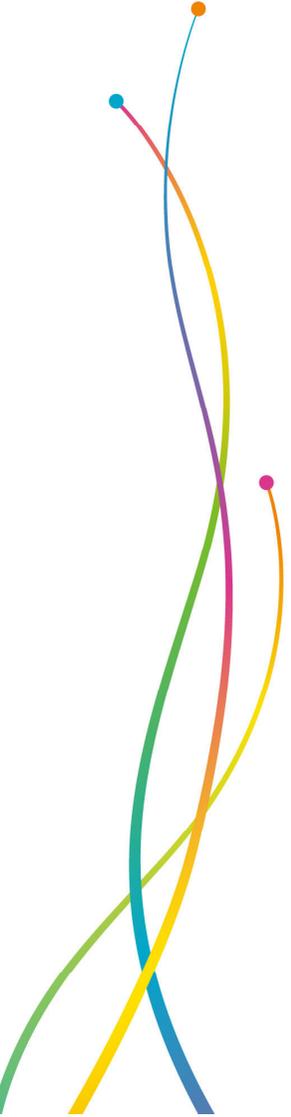
コーポレート機能進化による
コストシナジーの実現

27年4月

合併

企業文化融合

両社の良さを活かした企業文化の融合、事業シナジーの創出とコーポレート機能の効率化を推進することで、グループ全体としての競争力を高め、企業価値最大化を図る



2.事業シナジー

事業シナジーの全体像

①両社主要顧客への共同提案&クロスセル

P8

②アプリケーションとハイブリッドクラウド全体の高品質な設計・実装

P9

③セキュリティ&アプリ&インフラを横断する統合マネージドサービスの提供

P10

④スマートマニュファクチャリング OT/IT融合による新たな価値領域の創出

P11

「セキュリティ
コア技術」

最高クラスのアプリケーション技術

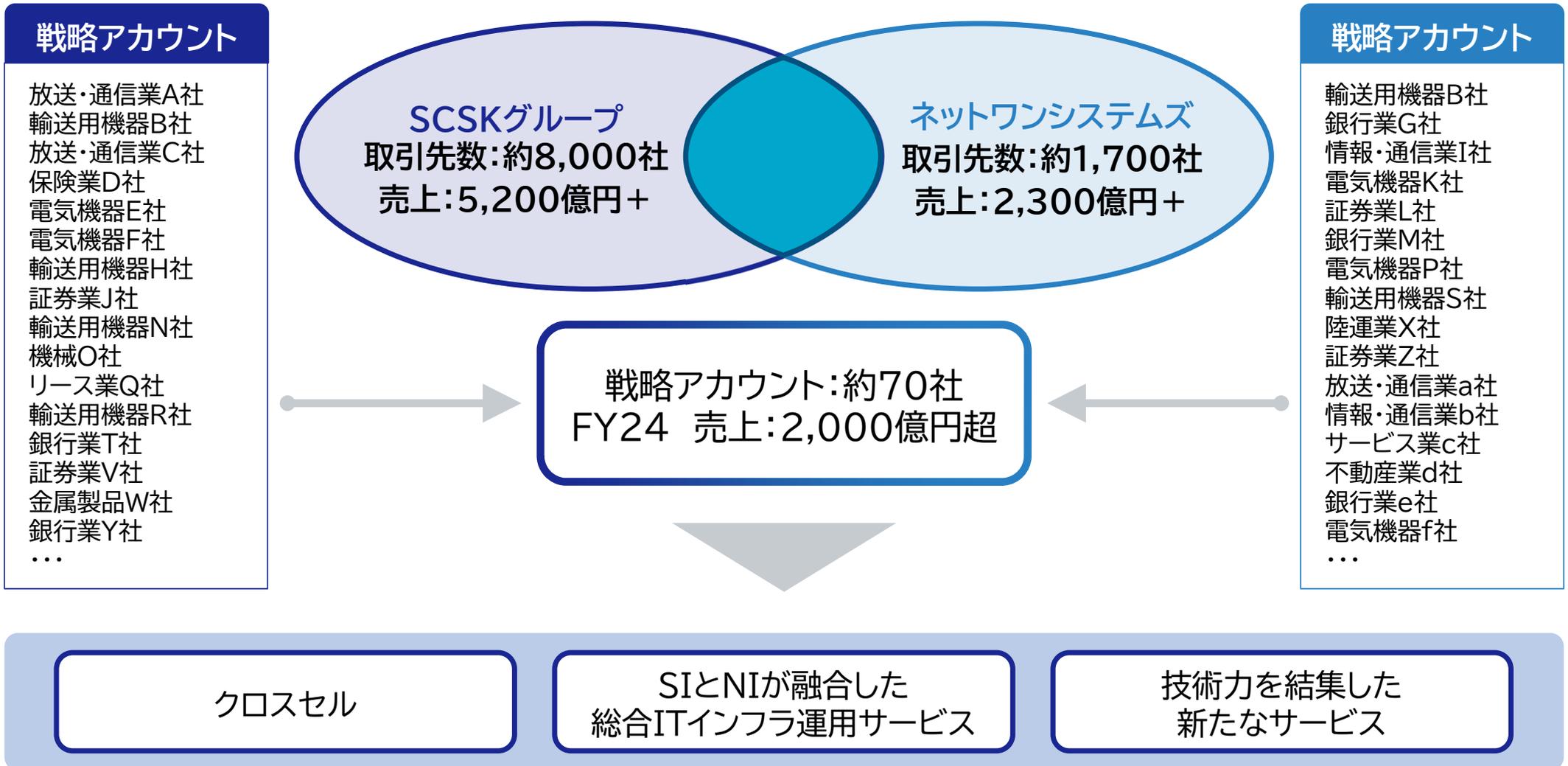
SCSK



最高クラスのネットワーク技術

net one

① 両社主要顧客への共同提案&クロスセル



② アプリケーションとハイブリッドクラウド全体の高品質な設計・実装

- 国内有数のクラウド技術力と、ハイパースケーラーとの接続優位性
- 複雑化・多様化するDXアーキテクチャ全体を高品質かつセキュアに設計・実装

ハイパースケーラーの活用 & モダナイゼーション



フルスタックのセキュリティサービス & 低遅延・高速なマルチクラウド閉域網接続サービス



データセンター[ソブリンククラウド] プライベートクラウド + AI + データ活用

アプリ&機密データ



デジタル化によるIT活用場面の拡大

エッジアプリ

工場:スマート工場化

自宅:テレワーク

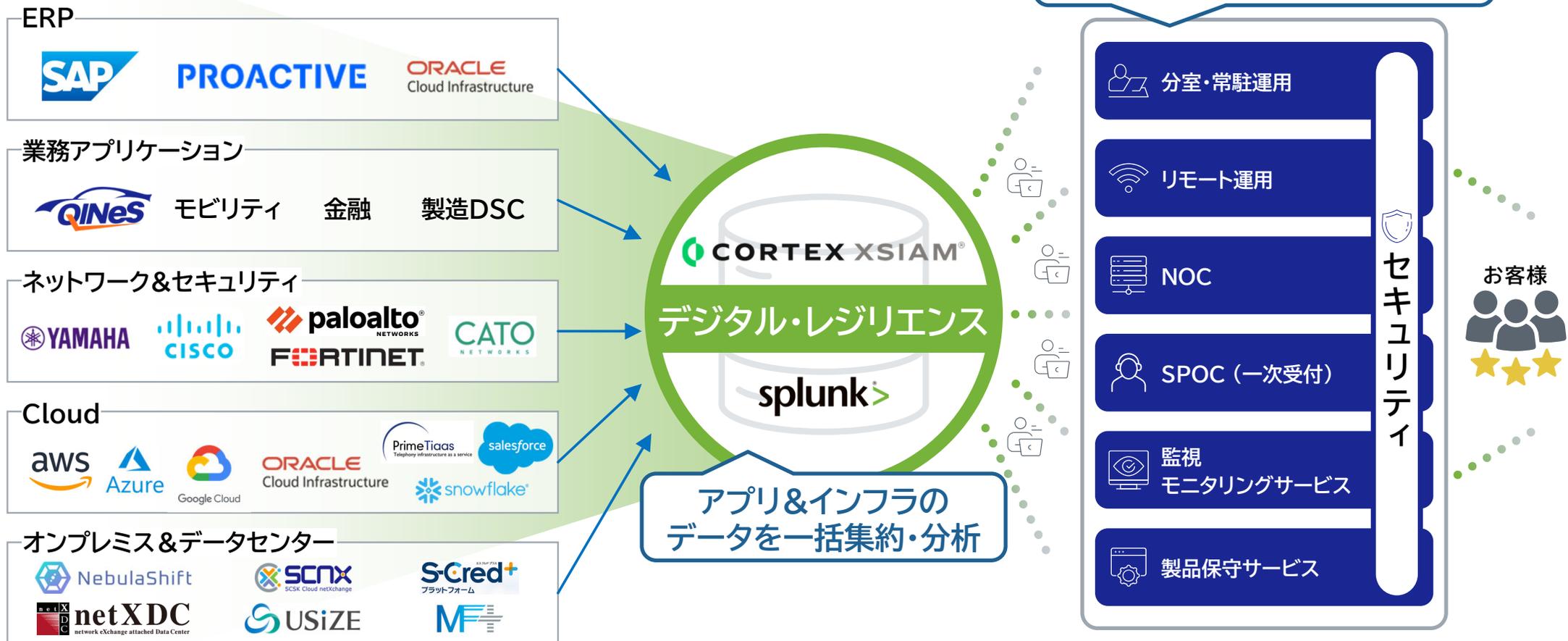
学校:GIGAスクール

病院:医療のデジタル化



③ セキュリティ&アプリ&インフラを横断する統合マネージドサービスの提供

- 顧客企業の日々の事業活動データをSplunk, CORTEX XSIAMへ集約
- セキュリティをコアに、アプリとインフラを横断して運用・監視



④ スマートマニュファクチャリング OT/IT融合による新たな価値領域の創出

両社統合による提供価値

複雑かつ多様なIT・OTをスムーズに連携し、“データ駆動型で高度に連動したスマートマニュファクチャリング”を実現

IT領域 **SCSK** | SCM・ECM・SOIの全工程を網羅した、一貫性のある付加価値の高いITサービスにより、強靱なデジタルサプライチェーンを実現

OT領域 **net one** | インフラ・ネットワーク・セキュリティを担保し、様々なデータを抽出・構造化する対応力により、製造現場の可視化・デジタル化を実現

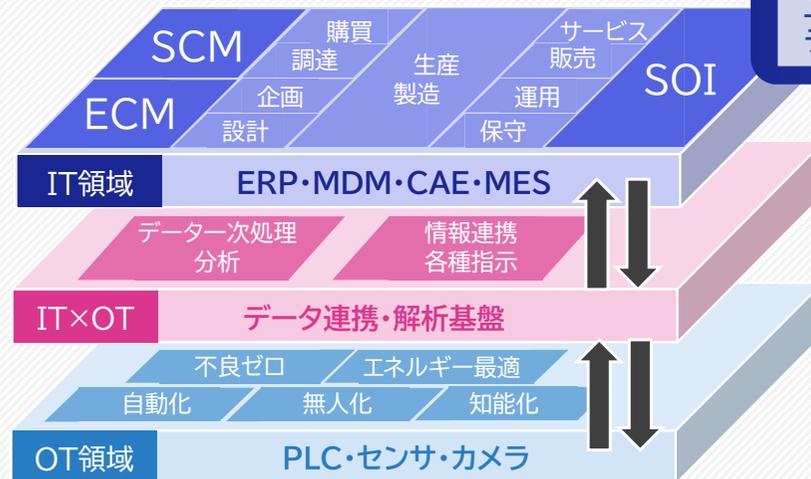
IT×OT **SCSK × net one** | IT×OTを跨ったセキュリティ・データガバナンス・データ連動を実現し、製造業のIT×OTをデータ駆動型で高度に連動

SCSK + net one スマートマニュファクチュアリングイメージ

✓ SCM・ECM・SOIの全工程を網羅した、高度な一貫性を実現

✓ データ駆動型でIT×OTの高度な連動を実現

✓ 製造現場の可視化・デジタル化を実現



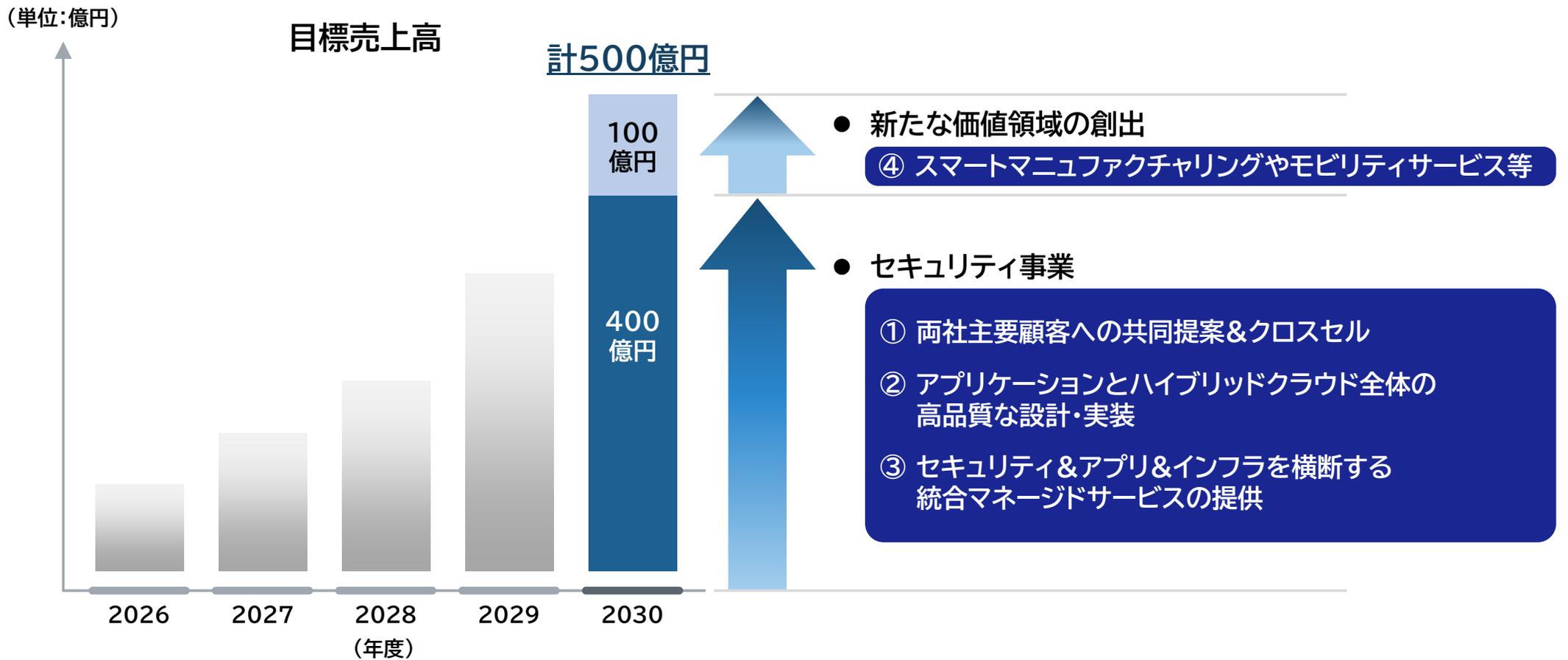
顧客共創・伴走

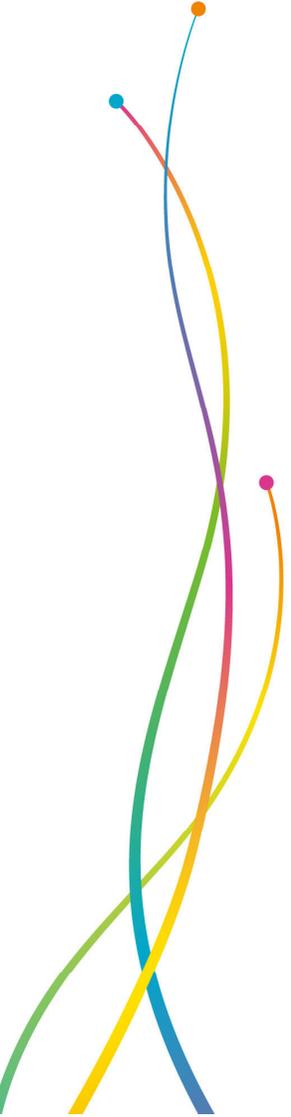


✓ IT/OTインフラからアプリケーション、データまで全領域での安心と信頼を担保

事業シナジーの定量目標

両社の既存事業成長に加えて、統合効果を驚異的なプラスに変える化学反応を同時進行させる
定量目標： 2030年度 売上高500億円（両社のオーガニック成長分は含めていない）



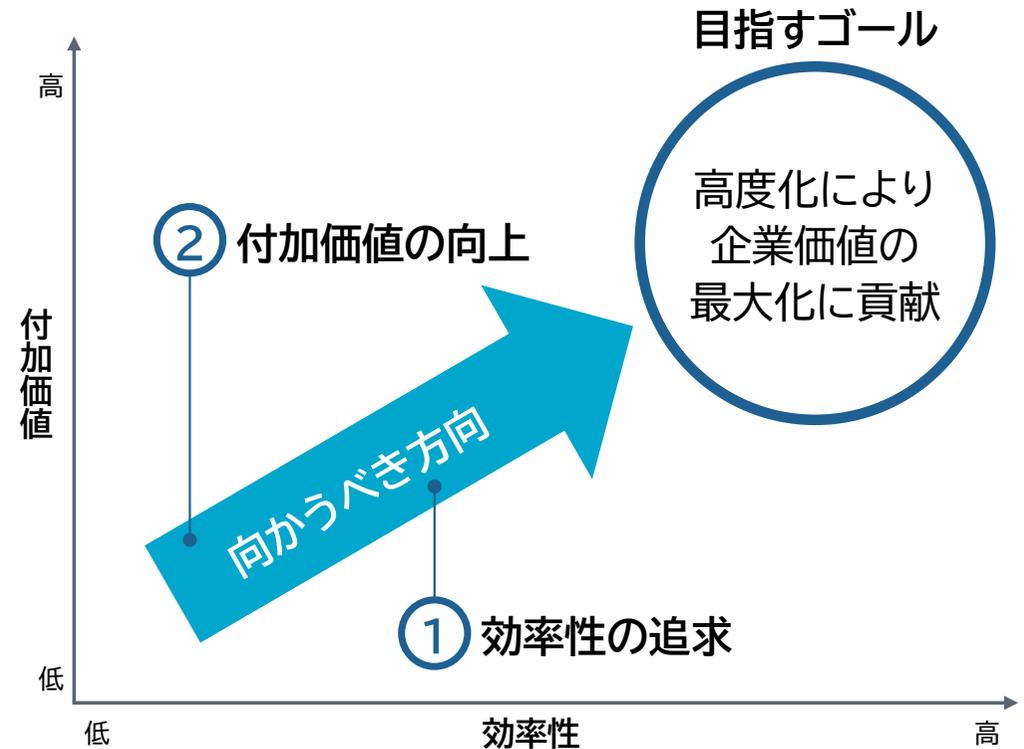
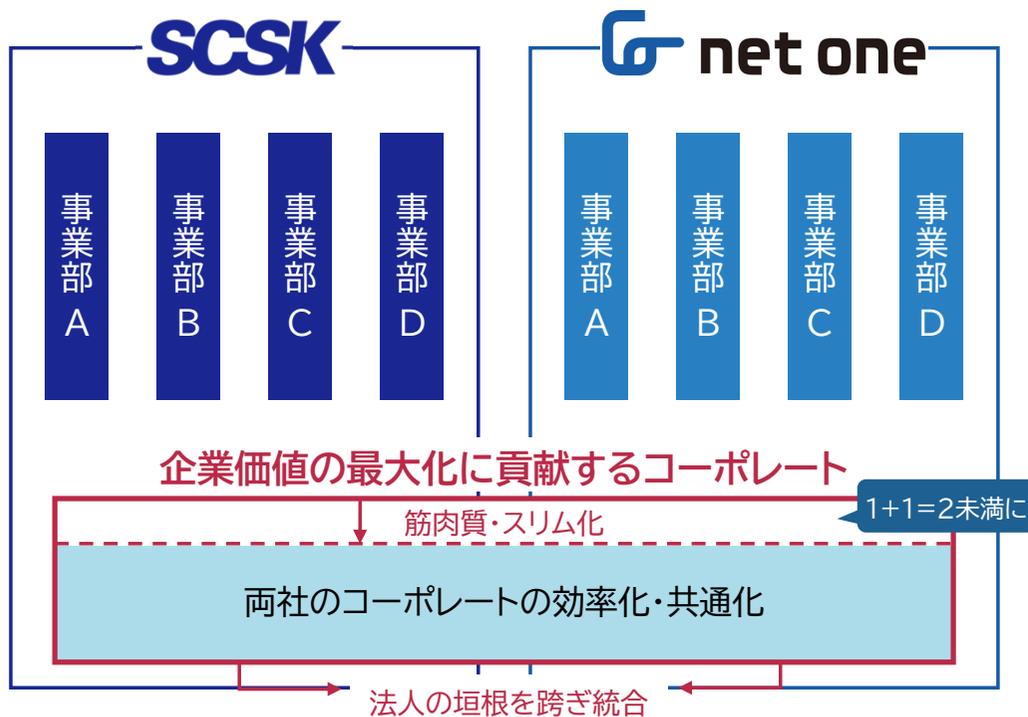


3.コーポレート高度化

コーポレート高度化の目指すゴール

- ① 工数削減・社内DX推進による筋肉質な組織づくり
- ② 事業戦略・事業シフトを支える専門性とスピード
- ③ 全体最適を達成し企業価値の向上と業績貢献を実現

イメージ



コーポレート高度化(コストシナジー)の定量目標



業務の効率化

業務廃止／簡素化

業務の共通化

業務の標準化

など



コーポレートの人件費の最適化

社員の自然減等による要員数の適正化

など

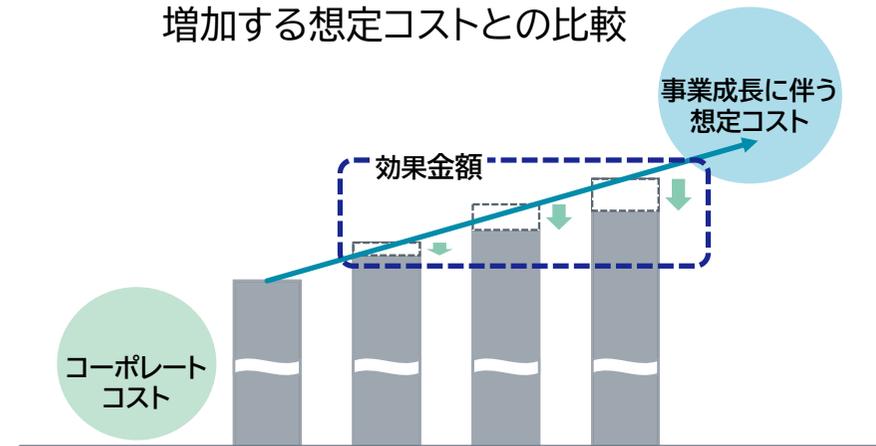


目標とする効果金額

FY26～FY28 3ヶ年合計

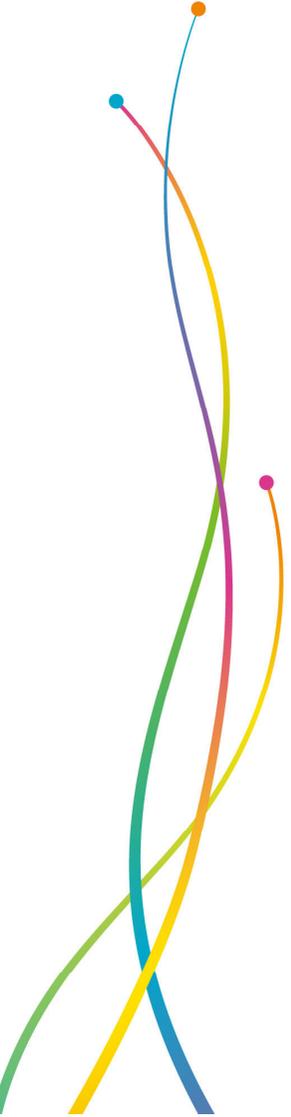
60億円以上

コーポレートコストを対象とし、事業成長に伴って増加する想定コストとの比較



<社内IT・オフィス関連投資の見通しについて>

- ※FY26～30の間で仮に実施するとした場合のキャッシュアウト想定累計額
- 将来的な高度化に向けた社内ITシステムの刷新(120～140億円[※])
- 統合効果最大化の為のオフィス関連投資(100～120億円[※])



4.更なる企業価値向上のための全社施策

企業価値向上に向けた企業文化融合

社会・顧客の未来を共創

技術の進化

SI・NIの融合で
独自の技術価値を創出

顧客の拡大

両社に共通する現場力で
新しい顧客層の信頼を獲得

社員の成長

新しい技術・顧客・組織による
枠を超えた成長機会

企業文化の融合

SCSK

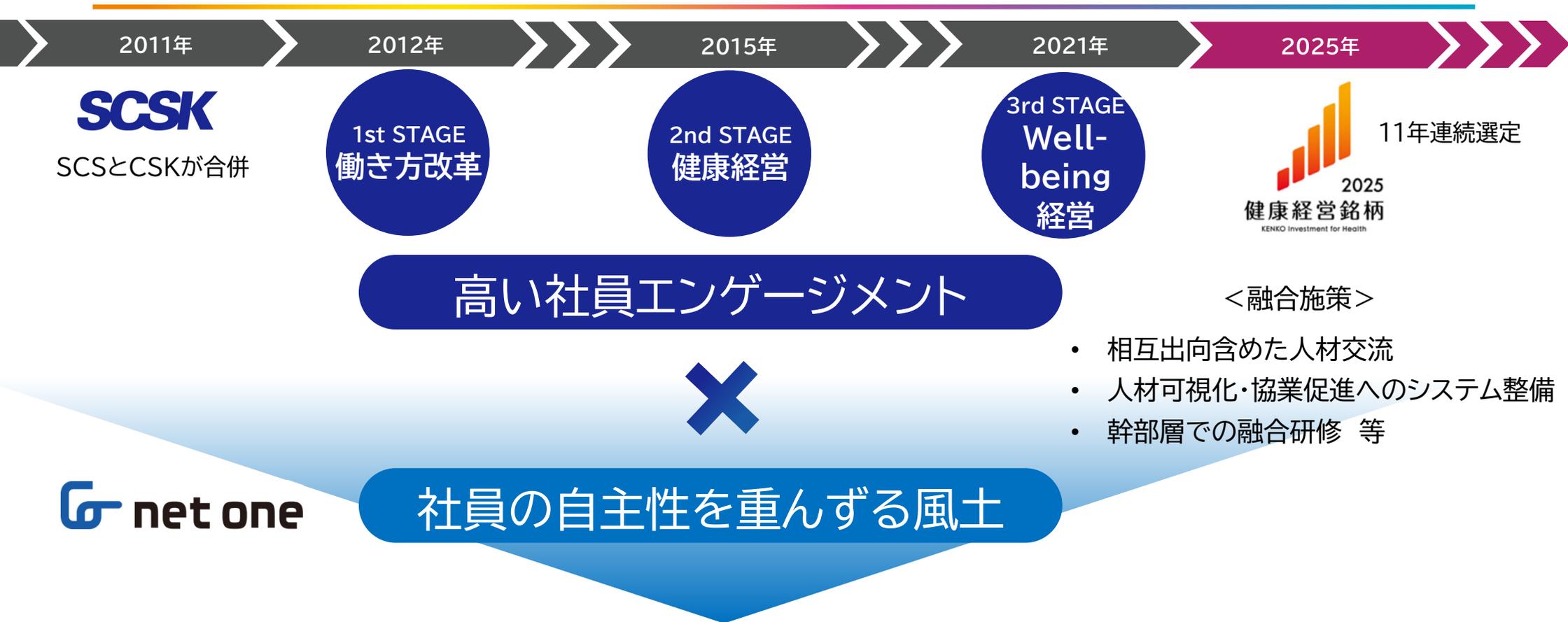
夢ある未来を、共に創る

net one

人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、
伝統と革新で豊かな未来を創る

両社の経営理念・パーパスは、親和性が非常に高い
— 技術・顧客・社員の重視 —

企業価値向上に向けた企業文化融合



価値創出を通じた社会への貢献と働きがいを実感できるSCSKグループへ

統合後のありたい姿

目指す企業像

社会課題の解決を牽引し、圧倒的な存在感と影響力を持つ事業群を展開する企業グループ

- すべてのステークホルダー(社会、顧客・取引先、株主・投資家、従業員・就労者 等)に選ばれる存在
- 高度な技術力及び市場から得られる洞察をもとに、特定の領域での独自ポジションを確立
- 継続的/持続的な進化と成長のサイクル

社員一人ひとりの成長を原動力とし、変化を先取りすることで、未来を切り拓く

価値創造の源泉は「人財」と
そこから生まれる「知財」

変革をリードする存在

社員の成長と市場開拓力

目指す企業像における企業文化や行動指針

インテグリティ
(誠実・真摯・高潔など)

挑戦と成長機会

多様性の尊重

共創の促進

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

SCSK

 **net one**

